下水道技術の進化に向けて

4つの「技術分野」で、新技術の開発・実用化を進めます

下水道技術の新たな進化・発展

↑

4つの技術分野

- 省エネ・低炭素化技術
- 資源・エネルギー利活用技術
- 施設機能維持・向上技術
- 生産性向上・最適化技術

↑

ＪＳ技術開発の基本理念　－技術開発の2本柱－

- 地方公共団体のニーズに応える技術の開発・実用化
- 下水道事業全体の発展に寄与する先進的・先導的な技術の開発

基礎・固有調査研究の実施に必要な施設整備と具体的な調査研究事項を定めた**「基礎・固有調査研究の中期計画」**（計画期間:平成29～33年度）に基づき、安定的かつ継続的に**基礎・固有調査研究**を実施し、地方公共団体にその成果を還元していきます。

固有調査研究

導入技術の現場課題や進化を踏まえ、維持管理の効率化・改築更新手法の最適化等を支援するとともに、その成果の標準化等により受託団体への還元に資する調査研究。

基礎調査研究

下水道技術を牽引・進化させ、下水道の発展に寄与する先導的な調査研究。

施 設 整 備

基礎・固有調査研究の実施に必要な施設は、技術開発実験センター（栃木県真岡市）において整備。

技術開発実験センターの全景